2006 年度

科目名 文化財資料論Ⅲ（美術・工芸）	対象学科・学年 文学部文財2回生	担当者 吉原 忠雄
授業テーマ 美術工芸資料の内容・材質・構造・技法を学ぶ		
授業の概要と目標 美術工芸は、絵画・彫刻・工芸などであるが、それぞれに内容が広く、複雑多岐にわたる。それに伴い、材質・構造・技法も複雑である。そこで本年は、現実に対応して内容を大きく宗教関係とそれ以外に分け、宗教は宗派別に分けて、関係する美術工芸品を列挙してゆき、理解しやすくする。		
評価方法 出席とレポートにより評価する。		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 はじめに 2 宗教関係資料について 3 真言宗関係資料 4 天台宗関係資料 5 浄土宗関係資料 6 浄土真宗関係資料 7 禅宗関係資料 8 日蓮宗関係資料 9 神仏習合関係資料 10 奈良仏教関係資料 11 宗教関係以外の資料について 12 大和絵 13 水墨画 14 浮世絵など 15 まとめ		